

経営課題を解決に導く

# 兼業・副業人材活用 ワークショップ

参加  
無料

10.17 (金)

13:00 - 15:30

オンライン開催 (Webex)

新規事業を進める人材がない…  
フルタイムでの雇用が難しい…



対象

広域関東圏1都10県の中小企業・  
小規模事業者の経営者・人事責任者

## イベント概要

経営課題を深掘ってみると人材課題が潜んでいることがあります。フルタイムでの人材確保が難しくなっている中、兼業・副業人材を活用すれば解決できることがあるかもしれません。

本ワークショップでは、兼業・副業人材についてのインプットだけでなく、企業ごとの経営課題の影に隠れている人材課題を発見し、課題解決のための人材を特定するワークを実施します。

法政大学大学院地域創造インスティテュート/  
大学院政策創造研究科/キャリアデザイン学部

教授 石山 恒貴 氏

一橋大学社会学部卒業、産業能率大学大学院修士課程修了、法政大学大学院博士後期課程修了、博士(政策学)。NEC、GE、米系ライフサイエンス会社を経て、現職。日本キャリアデザイン学会副会長、人材育成学会常任理事、Asia Pacific Business Review(Taylor & Francis) Regional Editor、日本女性学習財団理事、産業・組織心理学会理事、人事実践科学会議共同代表、フリーランス協会アドバイザー等。



## オンラインマッチングイベント

12月17・18日  
オンライン  
開催予定

KANTO

兼業・副業マッチングフェア

セミナー・ワークショップの実践の場として、人材確保を目指すマッチングイベントを実施します。兼業・副業を希望するフリーランスや大企業の人材に貴社のPR、募集情報の説明および交流することができます。

※ マッチングイベントには本ワークショップの参加が必須となります。

## ◎「中小企業向け一気通貫支援プログラム」

中小企業の人材課題解決に向けて、セミナー・ワークショップ・マッチングイベントを一気通貫でサポートするプログラムです。

多様な人材確保のための人材戦略  
オンラインセミナー

2025.7.25  
アーカイブ配信中



対象別人材活用  
ワークショップ

兼業・副業人材  
2025.10.17

女性・若者  
2025.9.19

外国人材  
2025.9.24

マッチングイベント

2025.12月  
兼業・副業を希望する方のオンライン交流イベント  
KANTO 兼業・副業 マッチングフェア

2026年1月  
多様な人材が参加する合同企業説明会  
KANTOワークフェス2025

お申込みは  
こちら

「広域関東JOBフィールド」企業向けイベントよりお申込みください。

<https://kanto-shigoto.meti.go.jp/events/251017>



【主催】



【運営・お問合せ】

地域中小企業人材確保事業運営事務局(株式会社学情)

TEL: 03-6775-4713

Email: info@kanto-shigoto.meti.go.jp bzl-kanto-jinzaimeti.go.jp

# 兼業・副業人材活用のススメ

## 兼業・副業人材活用のメリット

**兼業・副業人材**とは、特定組織に専従しない形で自身の専門知識や経験・スキル等を提供して対価を得る人のことです。組織に所属せず独立した形態で活動している人もいれば、企業や団体に所属しながら並行して活動している人もおり、関わり方も多様化しています。外部環境の変化やテレワークの普及に伴い、経験者の採用が難しい専門的なテーマに対して、兼業・副業人材を活用する企業が、地域を問わず増加しています。

## 国内の兼業・副業人材が増加中



雇用に限らない  
自由な雇用形態

社内にないノウハウや  
技術の獲得

資金と時間の節約

雇用や事業承継の  
お試し期間

高い専門性や  
豊富な経験を活用

必要な時に必要な分だけ  
活用可能

社員の業務量・  
負担の軽減

## 兼業・副業人材を活用できる テーマ・進め方

**経営課題**に合わせた広いテーマで活用できることが兼業・副業人材活用の特徴です。通常では経験者の採用が難しい専門的なテーマや最近では、DX推進やマーケティング活動など、企業の関心の高いテーマに対しても、兼業・副業人材が活用されています。テーマに合わせて、兼業・副業人材との関わり方を工夫することで効率的、効果的な取り組みを期待することができます。



### タスク型

期間(人日)、作業内容、納品物が明確



(例)  
・バナーやロゴをデザイン  
・データ入力や翻訳業務

### プロジェクト型

期間(数か月～数年)、業務範囲、  
成果物が明確



(例)  
・社内システムの導入・開発  
・新商品のマーケティング活動  
・顧客管理のDX化

### ミッション型

期間や成果物は限定せず、  
ミッションに基づき役割遂行



(例)  
・認知向上、ブランディング  
・人材開発(採用～育成)

## 兼業・副業人材の活用事例

### CASE ①

2名の兼業・副業人材を採用。ビジョンに共感し、伴走しながらしっかりサポートしてくれた。

# 製造業  
# 経営戦略立案  
# 組織活性化

#### 頭を抱えていた事業戦略立案

事業戦略の立案を進め、社員には相談がしづらく、また費用面から外部の民間コンサルティング会社への依頼も難しい中、商工会議所への相談をきっかけに、兼業・副業人材の活用を視野に入れた。

#### 社員を巻き込んだプロジェクト発足

2名の兼業・副業人材とマッチング。事業戦略の立案には社員も巻き込むべきというアドバイスにより、社員と一緒に考えるプロジェクトを発足。社長へのアドバイスではなく、コーチングを活用し、本音や思いを引き出すことに注力した。

#### 120ページの事業戦略書の完成

兼業・副業人材を中心に進めたプロジェクトにより、社長の考えを引き出すことができたことに加え、社員の意見も取り入れたことで、納得できる事業戦略書が完成。事業の目的、会社経営の目的を深く考えることができた。

### CASE ②

課題やニーズの深掘りからツールの導入まで、社員の共通認識を持てたことが成功要因。

# 小売業  
# DX推進  
# 顧客対応の効率化

#### 人材不足で着手できなかった経営課題

人材リソースが足りず着手できなかった課題に対応するために兼業・副業人材活用を検討。顧客データの活用や、コールセンターの効率化、ITツールの活用を目指して、ICT導入支援実績のある兼業・副業人材を選定。

#### チャットボット導入プロジェクトを発足

兼業・副業人材に提案された「チャットボット」は社内では出てこなかったアイデア。導入プロジェクトを発足し、オペレーションやセキュリティ、プロモーションなど幅広くすり合わせ、包括的な課題解決に繋がるシステム構築を進めた。

#### 業務効率化とDX推進のきっかけ

顧客対応の効率化ができるチャットボットの導入が実現。兼業・副業人材をPMとし、経験を活かした入念な準備により効率化を実現。社員間でDXに対する意識が高まり他の課題への応用を目指すきっかけに。

## 詳細・その他事例はこちらから

『兼業・副業人材活用のススメ～多様な人材活用で経営力を高める～』

[https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/jinzai/data/220331\\_kennyoyuhukugyou\\_zireisyu.pdf](https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/jinzai/data/220331_kennyoyuhukugyou_zireisyu.pdf)

兼業・副業人材活用のススメ

検索

【主催】



【運営・お問合せ】

地域中小企業人材確保事業運営事務局（株式会社学情）

TEL: 03-6775-4713

Email: [info@kanto-shigoto.meti.go.jp](mailto:info@kanto-shigoto.meti.go.jp) [bzl-kanto-jinzaimeti.go.jp](mailto:bzl-kanto-jinzaimeti.go.jp)